

令和 5 年度 道河委第 3 3 号

スマートICアクセス道路
市道小一条今村橋線土質調査業務委託

仕 様 書

長浜市都市建設部道路河川課

位置図 長浜市布勢町



スマートICアクセス道路 市道小一条今村橋線土質調査業務委託 特記仕様書

委託番号 令和5年度 道河委第33号

委託業務の名称 スマートICアクセス道路 市道小一条今村橋線土質調査業務委託

委託業務の場所 長浜市布勢町

第1条 本業務の履行にあたっては、本特記仕様書によるほか、「土木設計業務等共通仕様書（令和2年10月滋賀県土木交通部）令和3年1月一部改訂」（以下「共通仕様書」という。）によるものとする。

第2条 共通仕様書に対する特記事項は、下記のとおりとする。

第3条 その他の特記事項

1. 業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議のうえ決定するものとする。
2. 成果品納入後であっても成果品に誤りがある場合は、直ちに訂正するものとする。

第4条 【適用及び定義】

本特記仕様書は、「スマートICアクセス道路 市道小一条今村橋線土質調査業務委託」に適用するものとする。

本特記仕様書に述べる発注者とは長浜市をいい、受注者とは本業務の受注者をいう。

第5条 【目的】

本業務は、（仮称）神田スマートIC設置に係る1次アクセス道路の計画のため、既往調査及び本土質調査の実施結果により、設計業務の基礎資料としてとりまとめるものとする。

第6条 【準拠する法令等】

本業務は、特記仕様書によるほか、下記の法令に準拠し実施するものとする。

- （1）土木設計業務等委託必携（滋賀県土木交通部 令和2年10月）
- （2）その他関係法令、規則等

第7条 【業務場所】

業務場所は、長浜市布勢町で、別添位置図に示すとおりである。

第8条 【提出書類】

本業務に先立ち受注者は、下記の書類を作成し、発注者に提出し承認を得るものとする。

- （1）着手届
- （2）業務工程表
- （3）業務計画書
- （4）技術者通知書・経歴書

(5) その他発注者が指示する書類

第9条 【打合せ協議等】

業務における打合せは、業務着手時、中間打合せ3回、成果品納入時の計5回行うものとする。
ただし、中間打合せは、監督職員と協議の上、打合せ回数を変更できるものとする。なお、打合せには、主任技術者が立会うものとする。

第10条 【工程管理】

受注者は、工程表を変更する必要がある場合で、その内容が重要なときは、その都度変更した工程表を提出し、承認を得なければならない。

第11条 【履行期間】

本業務の実施においては、進捗管理の徹底、履行期限の厳守、監督職員と十分に協議調整を図るものとする。

第12条 【疑義】

本業務内容において疑義が生じた場合は、監督職員と十分に協議して指示を受けるものとする。

第13条 【契約変更】

本業務において数量等に増減が生じた場合は、発注者及び受注者協議のうえ契約変更を行うものとする。なお、軽微な増減については、その対象としない。

第14条 【資料等の貸与及び返却】

(1) 監督職員は、設計図書に定める図書及びその他関係資料を、受注者に貸与するものとする。

(2) 受注者は、貸与された図書及び関係資料等の必要がなくなった場合はただちに監督職員に返却するものとする。

(3) 受注者は貸与された図書及びその他関係資料を丁寧に扱い、損傷してはならない。

万一、損傷した場合には、受注者の責任と費用負担において修復するものとする。

(4) 受注者は、設計図書に定める守秘義務が求められる資料については複写してはならない。

貸与する資料等は次のとおりとする。

資料等の名称	貸与場所	返納場所	摘要
土川橋土質調査報告書	道路河川課	道路河川課	長浜市
春日前橋土質調査委託	道路河川課	道路河川課	長浜市
長浜南第六処理分区土質調査業務	道路河川課	道路河川課	長浜市

第15条 【土地への立入り等】

本業務で現地に立ち入る場合は、特に言動等に注意し、住民とのトラブルを起こすことがないように慎重な態度で業務遂行に当たらなければならない。また、調査位置が人家に近接する作業であるため、委託標示板、作業中標示等を設置して安全に努めること。なお、標示の内容については事前に監督職員の確認を得るものとする。

作業にあたり植物等の伐採または工作物等の一時使用を行う場合は、監督職員に確認の上その所有者または占有者の承諾を得て行うものとする。

第16条 【損害賠償】

受注者は業務遂行中の事故及び第三者に与えた損害が生じた場合、速やかに発注者に報告し、すべての処理を受注者の責任において行うものとする。

第17条 【機密の保持】

受注者は本業務に係わる一切の機密を厳守し、その成果を他に漏らしたり転用したりしてはならない。

第18条 【調査地点の確認】

受注者は調査地点について道路埋設物（占用物件等）を事前に調査し、作業に影響がないことを確認のうえ、監督職員の承諾を得ること。

第19条 【機械ボーリング】

機械ボーリングは、主として土質を調査し、地質構造や地下水位を確認するとともに、試料を採取し、あわせて原位置試験を実施するために行うことを目的とする。

- （１） ボーリング孔は確実に閉塞しなければならない。
- （２） ボーリングにおける泥水処理は、現場状況に合わせタンク等で適切に回収するものとし、河川や側溝等に流れないように留意すること。また、回収された泥水については、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

第20条 【サンプリング】

乱さない試料のサンプリングは、室内力学試験に供する試料を、原位置における性状をより乱れの少ない状態で採取することを目的とする。

- （１） 採取方法及び器具は、JGS 1221（固定ピストン式シンウォールサンプラーによる土試料の採取方法）によるものとする。
- （２） 成果物は、採取位置、採取深さ、採取長、採取方法について整理し提出するものとする。

第21条 【標準貫入試験】

標準貫入試験は、原位置における地盤の硬軟や、締まり具合の判定、及び土層構成を把握する

ための試料採取を目的とする。

- (1) 試験方法及び器具は、JIS A1219（標準貫入試験方法）によるものとする。
- (2) 試験結果及び保存用試料は、JIS A1219（標準貫入試験方法）に従って整理するものとする。

第22条【孔内水平載荷試験】

孔内水平載荷試験は、ボーリング孔壁に対し、垂直方向へ加圧し、地盤の変形特性及び強度特性を求めることを目的とする。

- (1) 試験方法及び器具は、JGS 1421（孔内水平載荷試験方法【地盤のプレッシャーメータ試験】）によるものとする。
- (2) 成果物は、試験箇所、試験方法、地盤状況、測定値、荷重強度－変位曲線、地盤の変形係数、及び地盤工学会記録用紙、報告書用紙のJGS 1421（孔内水平載荷試験方法【地盤のプレッシャーメータ試験】）により整理した試験結果を提出するものとする。

第23条【現場透水試験】

現場透水試験は、揚水又は注水時の流量や水位を測定し、地盤の原位置における透水係数及び平衡水位（地下水位）を求めることを目的とする。

- (1) 試験方法及び器具は、JGS 1314（単孔を利用した透水試験方法）によるものとする。
- (2) 成果物は、調査位置、深さ、調査方法、測定値、及び地盤工学会記録用紙、報告書用紙のJGS 1614により整理した試験結果を提出するものとする。

第24条【解析等調査業務】

業務内容は以下のとおりとする。

- (1) 既存資料の収集・現地踏査
- (2) 資料整理とりまとめ
- (3) 断面図等の作成
- (4) 総合解析とりまとめ

第25条【成果物の提出】

成果物の内、以下に示す成果については、作業完了後部分引渡しを行うものとする。

- (1) 報告書・・・・・・・・・・・・・2部
- (2) データ（報告書、図面、写真等）・・・・・・・・・・・・・2部
- (3) その他監督職員が指示するもの。

第26条【不当介入に関する通報制度の徹底について】

長浜市の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について

- (1) 受注者は、暴力団員等（暴力団の構成員及び暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な要求又は業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。

- (2) 受注者は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別紙様式第1号）により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、請負者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して、十分に指導を行い誓約書を提出させるものとする。
- (3) 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

第27条 【その他】

その他、本仕様書に記載なき事項については、監督職員と協議のうえ、その指示に従うこと。

以 上

(下請負人用)

誓 約 書

(あて先)

長浜市長 浅見宣義

住所：_____

商号または名称：_____

代表者 職・氏名：_____ 印

以下に掲げるすべての項目について、事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 次のいずれかに該当する者ではありません。
 - (ア) 役員等（下請負人が個人である場合にはその者を、法人である場合にはその役員をいい、支店・営業所等の場合にはその代表者を含む。以下、「役員等」という。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下、「暴力団員」という。）であると認められる者
 - (イ) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下、「暴力団」という。）または暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる者
 - (ウ) 役員等が、自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもって、暴力団または暴力団員を利用するなどしたと認められる者
 - (エ) 役員等が、暴力団または暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与するなど直接的または積極的に暴力団の維持または運営に協力し、または関与していると認められる者
 - (オ) 役員等が、暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者
- 2 長浜市から役職員名簿の提出を求められた場合には速やかに提出するとともに、本誓約書および役職員名簿を長浜警察署及び木之本警察署に提供することに同意します。
- 3 下請負人等を使用する場合において、長浜市から下請負人等の誓約書および役職員名簿の提出を求められた場合には、速やかに下請負人等から誓約書および役職員名簿を徴し、元請負人を通じて長浜市に提出します。

不 当 介 入〔 不当要求 業務妨害 〕 事 案 通 報 書

滋賀県長浜警察署長 様
長 浜 市 長 様

(通報者) _____

		※ 取扱署等	滋賀県 警察署 課
請 負 者	所在地	(本社)	電話 () - FAX () -
		(現場事務所)	電話 () - FAX () -
	名 称		
	代表者	(現場事務所の代表者)	
	通報者 等	(通報者の職・氏名) 電話 () -	
		(対応者) 所属会社名 電話 () -	
		氏 名	
		役 職	
不当介入の 行為者	住所	電話 () - FAX () -	
	所属		
	役職		
	氏名		
発生日時 ・ 場所	令和 年 月 日 時 分頃		
	〔元請・下請〕(下請の場合は、現場事務所の所在地)		電話 () - FAX () -
工事件名			
不当介入の 内容・被害 の状況			
警察への 通報の状況	(警察への通報) 有 ・ 無 (通報先警察署) 滋賀県 警察署 課 (通 報 日 時) 令和 年 月 日 時 分頃		

注 1 第一報は、この様式に必要な事項を記入したうえ、長浜警察署刑事課あて電話で行った後、その旨を 「警察への通報状況」 の欄に記入して発注者及び長浜警察署あて送付（電子メール・FAX可）すること。

2 不当介入の行為者の名刺、提示物等の参考資料がある場合は、その写しを添付すること。

3 下請負先（再委託先）において発生した場合であっても、必ず元請負人（発注者）が聞き取り調査をして記入し、通報すること。

4 ※の欄は、警察署において記入すること。